

## 120816 いろいろな「顔」

今回は、最近撮影した生きものの中から、「顔」をテーマにして、いくつかの写真を選んでみました。

### 写真 : ヒメホシカメムシ

葉っぱの上で、昼間から“赤ら顔”のお兄さんが、陽気に踊っているところに出くわしました。(阿波踊り??)

本当は、体長1cm強のカメムシです。

山麓部から平地に多く生息する種のようにです。

### 写真 ・ : アサヒナカワトンボ

体長5cm程度で溪流を好むカワトンボです。

顔を見ると...

緑色の金属光沢の口紅...、結構お洒落な感じですよ。

そして、体色(金属光沢)と白い縁紋から、この個体は雌でしょう。

### 写真 ・ : ダイミョウセセリ

体長2cm程度のセセリチョウです。

他のセセリチョウと違って、羽を開いて止まることが多いようです。

「大名」という名の由来は...

家紋の付いた黒い羽織袴をはいた、格式張ったお侍様を連想させることから、という説が有力なようです。

### 写真 : ニホンアマガエル

体長3cmくらいで、多くの人にとって馴染みの深い種です。

寝起きなのか、少し眠たそうですね...

周囲の環境や温度等に応じてホルモンを分泌することで、背中側の体色を黒っぽいまだら模様の灰褐色に変化させる能力を持っています。

### 写真 : シュレーゲルアオガエル

体長4cm強で、先の「ニホンアマガエル」よりも大型の種です。

もの思いにふける表情がいいですね...













